

# 農林水産省大臣官房長賞

『最高の栄養士さん』

東京都新宿区立柏木小学校 四年 丸尾 優晴

ぼくの学校の栄養士さんは、岡庭先生という男性の栄養士さんです。入学したときから岡庭先生なのでふつうに思っていました。が、「男性の栄養士さんはめずらしいね。」とよく言われます。

岡庭先生はスポーツが好きで、よくいっしょに野球の話をします。栄養士さんになつたきっかけは、小学生の時、栄養士さんがかわって給食がおいしくなったことと、スポーツをしていて体を大きくするために食事を見直して食の大切さを知ったからだそうです。

そんな岡庭先生が考える給食は、旬の食材を使ったものだけでなく、日本各地の様々な品種のお米のごはん、物語にでてくるメニュー、フルーツの品種の食べくらべ、好きなおかずがえられるセレクト給食など、毎日ワクワクするメニューがいっぱいあります。インド料理の給食では、インドの人が学校に来て給食を作ってくれるので、本格的です。なかでも、一からこねて作るパンはすごくおいしくて、みんなから大人気です。ぼくの小学校の名前にちなんで、「かしうさパン」と名付けられています。かしうさパンは、調理員さん五人が朝六時四十五分から三百人分もの量を五回に分けて生地をこねて作る手作りのパンです。ピザパン、てりやきパン、さつまいもパンなど毎月ちがう種類のパンが出てきます。とてもフワフワなパンで、気持ちをこめてこねているので、お店に売っているパンより何倍もおいしいです。

給食中、岡庭先生がぼくたちの教室に来て、行事食の由来を説明してくれたり、その日の給食室で調理している様子をとった動画を見せてくれたり、給食クイズを出してくれたりします。給食室の様子や食べ物の事をたくさん知ることができるので、とても勉強になるし、給食に関わる人たちへ感謝の気持ちをいっぱいになります。

このように、ぼくの学校の給食は最高の栄養士さんのおかげで、みんなに自満したくなる最高の給食です。岡庭先生、いつもおいしい給食を作ってくれてありがとうございます！